

広域ごみ処理施設

整備ニュース

令和3年

第8号

【発行】

五泉地域衛生施設組合

五泉市論瀨 8864

☎0250(43)3852

<http://gosen-eisei.jp>

【後列左から】

山隆リコム㈱代表取締役

横山建設㈱代表取締役

㈱大原鉄工所代表取締役

㈱坂詰組代表取締役

㈱エコガード新潟代表取締役

【前列左から】

阿賀町副町長

五泉市長

荏原環境プラント㈱代表取締役

阿賀野市長



そもそも中間処理施設とは、どんな施設？

ごみステーションに出されたごみは、収集後、ごみ処理施設に運搬され、ごみの種類によって、様々な方法で処理されています。このうち「燃やす」「選別してリサイクル（資源化）する」処理を行うのが中間処理施設です。

当組合を構成する五泉市、阿賀野市、阿賀町では、それぞれ現在のごみ焼却場の老朽化により、安定的・効率的なごみ処理が難しくなっています。そこで当組合では、新たな中間処理施設を五泉市清瀬地区に建設しています。

本年五月二十八日に開催した当組合議会の臨時会で、中間処理施設建設工事請負契約の締結について全会一致で可決されました。これにより、同施設の設計・建設及び運営・維持管理業務を行う事業者が決定しました。決定した事業者は、荏原環境プラントグループで、県外にも同様の施設を数多く建設した実績があります。同グループは、代表企業の荏原環境プラント株式

中間処理施設
設計・建設及び運営・維持管理事業者
が決定しました

契約額

○建設工事請負費
160億9,300万円

○運営・維持管理業務
委託費（20年間）
126億1,700万円

会社、構成員の株式会社大原鉄工所、協力企業の横山建設株式会社、株式会社坂詰組、山隆リコム株式会社、株式会社エコガード新潟、運営事業者の株式会社ごせんEサービスの七社で構成されています。

中間処理施設

建設工事を開始します

本年十月から施設の建設工事を開始し、令和七年四月に稼働開始予定です。

工事にあたっては、低騒音・低振動型の建設機械を使用し、騒音・振動の低減に努めます。また、造成地からの排水については、ろ過装置を設置した沈砂池で濁水処理したうえで放流することによって環境負荷を低減します。

工事期間だけでも四年近い年月、その後の運営期間を含めると二十年を超える事業です。法令を遵守し、安全・安心な工事・施設運営に努めますので、ご理解とご協力をお願いします。

五泉地域衛生施設組合 中間処理施設 完成イメージ図



注：令和３年１１月時点での完成イメージ図のため、変更の可能性があります。

中間処理施設 建設工事の概要

建設場所：新潟県五泉市清瀬 84 番地 2 ほか

建物：階数 地下1階 地上5階

高さ 30.5m

煙突高さ 59.0m

処理能力：エネルギー回収型廃棄物処理施設 122t/日 (61t/日×2炉)

マテリアルリサイクル推進施設 11t/日

焼却方式：全連続式ストーカ式燃焼方式

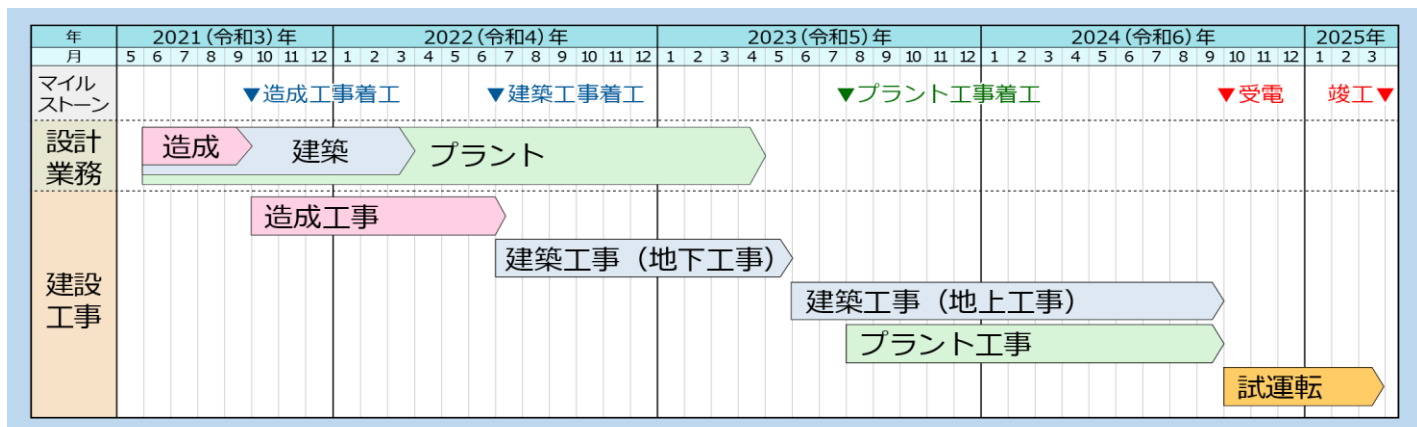
余熱利用：蒸気タービン発電

発電能力：約 2,300kW

工 期：令和3年5月28日～令和7年3月31日（設計業務を含む）

工事費：16,093,000,000 円（消費税含む）

【建設工程表】



令和3年11月現在の建設地の状況



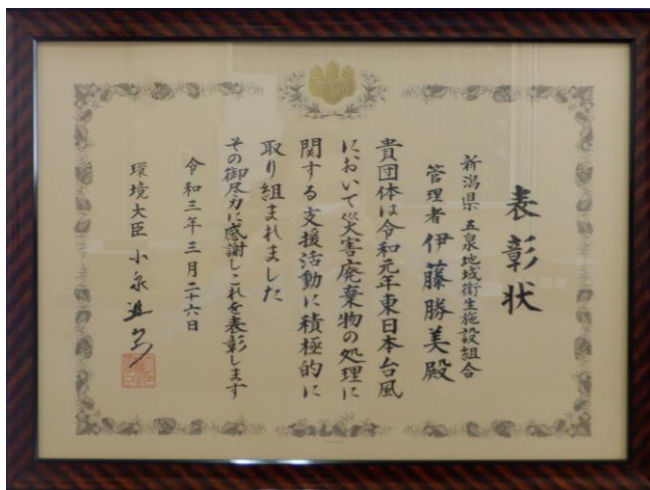
建設地周辺MAP



環境大臣表彰

被災地域支援活動に対して表彰状が授与されました

令和元年東日本台風の際に、災害廃棄物の処理に関する支援活動に積極的に取り組んだとして、当組合が環境大臣から表彰されました。



最近よく耳にするけど、

SDGs (エスディージーズ) とは？

SDGs は、2015 年に国連で開かれたサミットの中で決められた国際的な目標で「持続可能な開発目標」の略称です。具体的には、17 の達成目標（ゴール）と、169 の達成基準（ターゲット）から構成されています。

その目標の中の 12 番目に「つくる責任つかう責任」、14 番目に「海の豊かさを守ろう」という項目があり、それぞれ、食品ロスの削減、プラスチックごみの削減の取組みと強い関連性があります。

ごみの処理工程は、収集運搬、焼却、最終処分等で莫大な経費がかかり、その多くは税金で賄われています。食品ロスの削減や正しい分別等でごみの排出量を減らせば、環境保全と経費削減の両方につながります。家庭や職場でできることから取り組みましょう。

最終処分場

阿賀野市大日地区で予定していた建設工事が中止になりました

新たな最終処分場につきましては、阿賀野市の大日地区に建設する計画を進めてきました。これまでの経過としては、当該候補地を

決定後、地質調査と測量調査を実施し、基本計画を作成しました。それらの調査と、基本設計及び生活環境影響調査の結果、計画地の地盤が軟弱で支持地盤が深いことなどから、事業費が当初の計画から大幅に増加

することが判明しました。このため、当組合では事業費の削減案について検討を重ねましたが、施設の安定性や安全性を考慮し、計画地での事業費削減は困難であると判断したことから、同地区における最終処分場

の整備計画を中止し、最終処分場整備事業を一旦休止することとしました。新たな候補地の選定につきましては、今後、当組合の構成市町である五泉市、阿賀野市、阿賀町と当組合で慎重に進めていきます。